

SKYMENU 活用授業 実践レポート

| | | | |
|------|------------|-----|------------|
| お名前 | 北村 康太郎 | 学校名 | 習志野市立藤崎小学校 |
| 実施学年 | 小学校5年生 | 教科 | 道徳 |
| 単元名 | 公園のきまりを作ろう | | |

《学びを深めたいポイント》

- ①導入の場面では、教科書にある絵を見て気になったことを出し合う。
ここでは、きまりがないとまとまらず自分勝手になってしまうことに気付く
- ②展開の場面では、導入で気になったことを解決するためのきまりをグループで話し合い、発表ノートでまとめ、全体で共有をする。
また、あまりにきまりが多いと遊びづらいことに気付かせ、大切にしたいルールだけをシンプルプレゼンでまとめ、全体で共有をする。
- ③まとめの場面では、きまりを作る時に大切なことは何かを考えさせ、きまりが何のためにあるのかを考えさせる。

《SKYMENU 活用のポイント》

- ・展開の場面では、グループの意見をまとめるため、発表ノートを活用する。そうすることで、教師が付箋やホワイトボードを用意しなくても、全員がタブレット端末上で自分たちの意見をどんどん書き込むことができる。グループでまとめ終わった後にクラス全体で共有することで、同じ意見や異なる意見、同じ意見だが違う切り口の意見などに触れることができる。
- ・展開の場面では、公園の看板に書くきまりをグループでまとめるため、シンプルプレゼンを活用する。きまりをまとめていく中で、きまりが多すぎると嫌になってしまうことや、守ろうと思うようにするために丁寧な言葉を選ぶことができるように、話し合い活動をする。グループ活動後は全体で意見を共有し、比較させ、新たな気づきを促すことができる。

《実践内容》

| | 学習活動 | SKYMENU 活用場面 | 活用のポイント |
|--|--|---|--|
| 導入 | <p>・教科書の絵を見て、気になった事を話し合う。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・花壇の中に入って遊んでいる男の子がいる。 ・芝生の上で自転車をこいでいる人がいて危ない。 ・空き缶が落ちてて転びそうな人がいる。 ・ごみを集めている人たちがいる。 ・近くでピクニックをしている家族は、食べたごみをきちんと持って帰っている。 ・そのそばで犬のリードを外して散歩している人がいる。 ・リードをちゃんとつけて散歩している人もいる。 ・ポイ捨てをしている女の人がいる。 ・ベンチで横になっている人がいて他の人が座れない。 ・ベンチに座っている女の人が、ベビーカーの人に場所を譲っている。 ・この公園の看板は真っ白だから、皆が自由にしている。 | |
|  | | | |
| 展開 | <p>・導入で気になったことを解決するためのきまりをグループで話し合い、まとめる。 (課題解決学習)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・発表ノートを使い、課題を解決するための意見を書き出す。 (グループ活動から学級全体に) ・花壇の周りに柵をつけて、「入らない」という看板をつける。 ・ごみ箱を一か所に集めて、分別をしやすいようにごみの種類を書いた看板を取り付ける。 ・ポイ捨てはしない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・グループでの活動にすることで、発表が苦手な児童も友達の見解を知ることができた。 ・話し合い活動をしていく中で、似たような意見がある事に気づき、2人の意見をまとめることができた。 ・発表をすることが苦手な児童も、「私も同じ考え」と発言し |

| | | | |
|------------|--|---|--|
| | <p>・考えたきまりは、どんなことを大事にして考えたのかを考える。</p> <p>・考えたきまりを公園の看板に書くとしたら、どのように書くかを考える。 (協働学習)</p> | <p>・ベンチはみんなの物です。譲り合って使いましょう。</p> <p>・自分で出したごみは家に持ち帰る。</p> <p>・芝生の上では野球をしない。</p> <p>・自転車は降りて公園を通る。</p> <p>・野球などをするスペースとゆっくりするスペースを分ける。</p> <p>・犬のリードは必ずつけて散歩をする。</p> <p>・大切にしたことをノートに書く。 (個人)</p> <p>・色々な人が使うから、皆が気持ちよく公園を使うことができるように考えた。</p> <p>・安全が大事だと思った。</p> <p>・嫌な思いをする人がいないようにしたかった。</p> <p>・シンプルプレゼンを使って、看板にきまりをどのように書くかを考える。 (グループ活動から学級全体に)</p> <p>・きまりが多すぎても嫌になるから、特に大事にしたいことだけを書いた方がいいと思う。</p> <p>・丁寧な言葉の方が嫌な気持ちにならないんじゃないかな。</p> <p>・公園はみんなが使う場所です。ごみはごみ箱に捨て、そのままにしないようにしましょう。</p> <p>・お花が傷つきます。花壇の中には入らないようにしましょう。</p> <p>・他の人がけがをしたら危ないです。ボール遊びや周りの人に迷惑になる遊びはやめましょう。</p> <p>・ベンチはみんなが使うものです。独り占めせず、譲り合って使いましょう。</p> | <p>たり、実際に発表ノートを使って、自分の意見を書いたりすることできた。</p> <p>・グループでの共有後、クラス全体で発表をすることで、同じ意見や異なる意見に触れることができた。</p> <p>・話し合いを進める中で、全部を書いてしまっただけでは自由度が減り、公園を使いたいと思う人が減ることに気付いた。</p> <p>・たくさんの人の目に触れることから、最初は「～しません」と書いていたグループも、話し合いを続ける中で丁寧な言葉にした方がいいのではないかと考えた。</p> <p>・自分一人で考えた物ではなく、グループで1つの物を考えることで、自然と話し合う回数が増えた。</p> |
| <p>まとめ</p> | <p>・きまりを作る立場になった時、大事にしなければならない事はどんな事かを考える。</p> | <p>・自分のことだけでなく、他の人のことも考えて作らなければいけない。</p> <p>・見た人が嫌な気持ちにならないように、丁寧な言葉を心がける。</p> | <p>・全員がきまりがなぜあるのかを考え、きまりは自分たちを守るためにある事に気付くことができた。</p> |

| | | |
|--|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・きまりは多すぎると自由がなく、少なすぎると嫌な気持ちになる人がいるから、ちょうどいい量にすることが大切だと思った。 ・使う人の気持ちを考えて決まりを作る必要がある。 | |
|--|--|--|

《実践を振り返って》

- ・「発表ノート」を使うことで、全体での意見の共有がしやすくなりました。
- ・発言が苦手な児童も自分の考えを打ち込んだり、「同じです。」とグループに伝えたりすることができ、「発表ノート」を使うことが効果的だと感じました。
- ・今までは付箋で行っていて、間違えたら書き直したり、同じものを貼り付ける過程で見づらくなったりしていましたが、「発表ノート」を使うことで、その場で直すことや意見を似た意見をまとめる事ができました。
- ・「シンプルプレゼン」を使うことで、グループの意見の共有がしやすかったです。
- ・枠を決めてきまりを書いていったので、児童もどんな書き方やどんなきまりを書けばいいかなどたくさん考えることができました。
- ・1つの場所に簡単に提出することができるので、児童全員が使いやすい機能がたくさんあると思いました。児童のためにも活用をしていきたいです。
- ・まだ使った回数が少ない機能もあるので、どんなことができるのかを考え活用していきたいです。